

報告事項イ

平成27年度第1回特別支援学校運動・スポーツ推進協議会の概要について

平成27年度第1回特別支援学校運動・スポーツ推進協議会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成27年5月14日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

1 協議会設置の趣旨

- 全国障がい者スポーツ大会、パラリンピック、デフリンピックに向けた特別支援学校の幼児児童生徒の競技力向上を目指す。
- 幼児児童生徒が遊びきる、働ききるための、健康な心と体を育成する運動・スポーツ環境の整備を図る。

【平成27年度重点事項】

- (1) 日常の学習、各事業等を活かして幼児児童生徒が体を動かす楽しさや、競技をとおして自己実現できる喜びが感じられる取組の推進。
- (2) 全国障がい者スポーツ大会、パラリンピック、デフリンピックに向けた競技者の育成と支援環境整備の検討。
- (3) 幼児児童生徒一人一人が健康に過ごし、学習活動や現場実習等で最後まで力を発揮するために、行動体力、防衛体力が向上する取組の推進。

2 開催日時

平成27年4月14日（火）午後2時30分から4時30分まで

3 協議概要

○楽しさを感じる経験の保障

- ・各学校では運動やスポーツが楽しいと感じる活動に取り組んでいる。
- ・楽しさから意欲の向上を図り、積極的にスポーツに取り組む児童生徒を育成する。
- ・低年齢層から裾野を広げ、競技力の向上につなげたい。
- ・アスリートや指導者との出会い、運動する場や機会の拡大が大切である。

○競技力向上に向けた取組

- ・学校が単独で放課後や休日に活動することに難しさがあり、地域の指導者へお願いしている状況もある。
- ・少人数化や障がい種独特の困難さもあり、学校内だけでなく余暇や卒後を見据えた支援環境や取組の検討が必要になる。
- ・放課後や休日の取組充実の方策と社会体育への移行を検討する必要がある。

○企業への働きかけ

- ・障がい者スポーツの振興と競技力向上に向けては、生徒が就労後も続けて協議に取り組むことができる環境と企業理解が必要である。
- ・強化指定選手については、協会から企業協力へのお願いがある。継続して企業への啓発を進めてほしい。

○情報提供

- ・競技団体により大会やイベントの要項の送付状況が違う。協会から年度当初に案内を出すだけではなく、丁寧に知らせてもらうと良い。
- ・卒業生が情報を得ることができる情報提供の工夫が必要である。
- ・協会が主催する定例のスポーツ教室の内容がわかりづらいので、わかりやすく伝えるような工夫をお願いしたい。

4 次回協議（7月予定）

基礎資源（学校の学習、運動成果）と社会資源（指導者、場）の連携

（参考）出席者

氏名	所属
安藤 敦仁	一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会・事務局長
横野 直史	一般社団法人鳥取県障がい者スポーツ協会・指導員
小谷 典正	文化観光スポーツ局スポーツ課・課長補佐
北根 尚徳	文化観光スポーツ局スポーツ課・係長
井上 光志	鳥取県教育委員会事務局体育保健課・課長補佐
三王寺 孝子	鳥取県立鳥取盲学校・教頭
霜村 新	鳥取県立鳥取聾学校・高等部主事
瀧濱 博幸	鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校・中学部主事
山本 睦子	鳥取県立鳥取養護学校・教頭
楠田 和幸	鳥取県立白兔養護学校・教頭
若原 優二	鳥取県立倉吉養護学校・教諭
嘉賀 晴美	鳥取県立皆生養護学校・教頭
金光 博志	鳥取県立米子養護学校・教頭
中谷 由美	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校・教頭